

先生・保護者へ

ライフステージごとの目標

発達段階に合わせて、交通安全教育の目標も変わってきます。
目標に応じて主体的な気持ちを育てる内容や方法を考えましょう。

小学生

(4～6年生)

左側通行の原則を徹底し、自転車に乗るための一通りの交通ルールを身に付ける。

中学生

交通社会の一員として、自転車の安全を確保することの大切さを知る。

高校生

交通社会の担い手として、社会的責任を理解し、歩行者の優先を徹底する。

発達段階に応じた指導法の例

中学生

自己理解を促し、自転車の乗り方を再考させる。

- 動画などで他者の行動を観察し、自分の行動を振り返る。
- 自分の気持ちを意識し、どんな行動につながるかを考える。

高校生

安全な交通社会づくりの理解

- 歩行者や道路環境を考え、どんな運転をすればよいか討論をする。
- 学んだことを下級生に指導したり、学校の中で発表したりする。

学校における生徒主体の取組例

大分県立大分雄城台高等学校



交通安全委員が作成した「自転車事故危険マップ」を全校生徒に周知。

大分県立津久見高等学校



警察と交通自治委員会が連携を図り、校内で2ロック啓発のチラシ配布。

大分県立中津東高等学校



交通講話と自転車シミュレーターの実施。
自転車の安全利用啓発動画作成。

表紙のQRから見えます！

参考資料

ルールの詳しい内容がわかる！
自転車ルールブック
〈警察庁交通局〉



自転車交通安全サイト
自転車ポータルサイト
〈警察庁〉



ライフステージに応じた交通安全教育
自転車の交通安全教育ガイドライン
〈自転車の交通安全教育の充実化に向けた官民連携協議会〉



授業で使って学べる
安全な通学を考える～加害者にもならない～
〈文部科学省〉



2026年4月より、自転車の交通反則通告制度（青切符）が導入されます。
キミのため、誰かのために知っておこう！

安全は、ぼくらがつくる！

自ら考え、判断し、行動するための交通安全ガイド

その運転
100点満点って
言える？

ルールを守る「義務」から、
街を守る「プライド」へ



5つのルール

自転車安全利用五則

- ① 車道が原則、左側通行、歩行者優先
- ② 交差点での信号遵守・一時停止
- ③ 夜間ライト点灯
- ④ 飲酒運転禁止
- ⑤ ヘルメット着用



大分県立中津東高等学校制作の
交通安全啓発動画

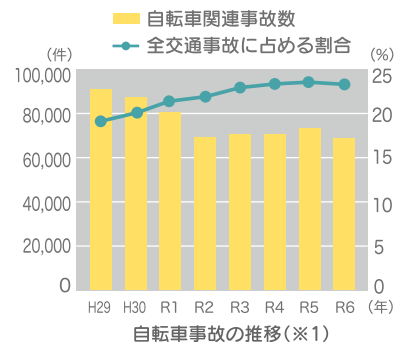
見て
みよう！



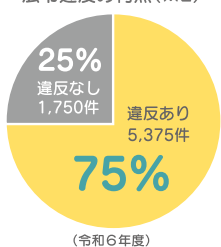
知っておこう！

自転車を取り巻く交通事情

自転車は子どもから高齢者まで幅広い層が利用する身近な交通手段です。しかし、近年、交通事故数は減少傾向にある中で、全交通事故に占める自転車事故の割合は増加傾向(※1)にあります。さらに、自転車が当事者となった死亡・重傷事故件数の約4分の3は自転車側に法令違反(※2)が認められるなど、自転車を取り巻く交通事故情勢は厳しい現状があります。



自転車の死亡・重傷事故における法令違反の有無(※2)

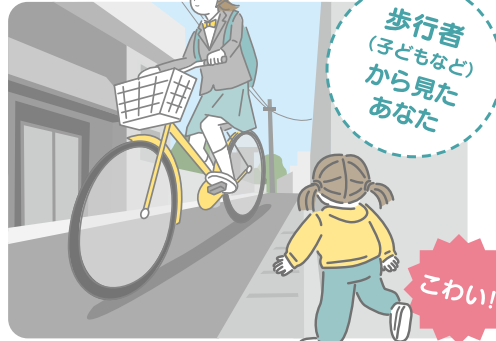


意識変革！

加害者にもならない そして誰かを守る「想像力」

自分が見えているから大丈夫という思い込みが事故を招く

「見えている世界」
は人それぞれ



青切符の導入を知ろう！

交通反則通告制度(青切符)とは、交通違反をした場合の手続きを簡略化するための仕組みです。一定期間内に反則金を納めると裁判を受けずに事件が処理されます。

- なぜ必要？
- ① 自転車の交通ルールの遵守を図るため！
 - ② 違反者に対する実効性のある責任追及のため！
 - ③ 簡易でスピーディーな違反処理のため！



2024年11月～

道路交通法改正による罰則強化

「ながらスマホ」(携帯電話使用等)

➡ 最大1年以下の懲役
または30万円以下の罰金

「酒気帯び運転」

➡ 3年以下の懲役または
50万円以下の罰金



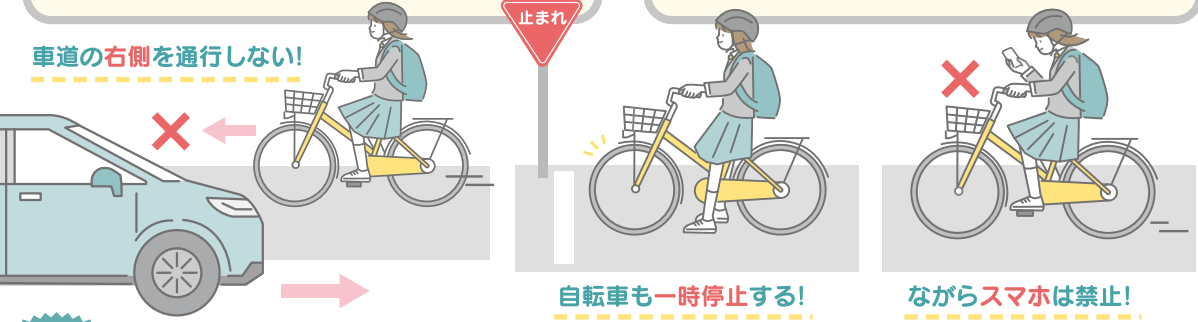
2026年4月～

青切符の違反例

■の違反は指導警告を経ずに検挙の対象となる。

- 携帯電話使用等 12,000円
- 遮断踏切立入り 7,000円
- 制動装置不良 5,000円
- 信号無視 6,000円
- 通行区分違反 6,000円
- 一時不停止 5,000円
- 傘さし運転 5,000円 など

さらに



自転車は
車の仲間と
自覚しよう！



車両の仲間



歩行者

- 自動車 ●原動機付自転車
- 軽車両(自転車・リアカーなど)

やってみよう！

自転車の交通ルール〇×クイズ



通学路の安全を確認しよう！

学習事例 地図アプリを活用した デジタル安全マップの作成

- マップをもとに、安全な通行方法をみんなで話し合おう。
- 高校生は出前授業で小学生と一緒に作ってみよう。

